

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)

## プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 難治性疾患実用化研究事業

### プリオン病及び遅発性ウイルス感染症の分子病態解明・ 治療法開発に関する研究班

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業

## プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班

# 平成 28 年度 合同研究報告会 プログラム・抄録集

日時：平成 29 年 1 月 16 日（月） 10：00～17：32  
平成 29 年 1 月 17 日（火） 9：00～18：05

場所：アルカディア市ヶ谷 6階 霧島  
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25  
TEL:03-3261-9921, FAX:03-3261-7760

### プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班

研究代表者 山田正仁

### プリオン病及び遅発性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班

研究開発代表者 山田正仁

事務局：〒920-8640 石川県金沢市宝町 13-1  
金沢大学大学院 脳老化・神経病態学（神経内科学）  
TEL:076-265-2298, FAX:076-234-4253  
E-mail: prion@med.kanazawa-u.ac.jp  
<http://prion.umin.jp/index.html>

### プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班

研究代表者 水澤英洋

事務局：〒187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1  
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター  
TEL:042-341-2711, FAX:042-346-1762  
E-mail: prion-ncnp@ncnp.go.jp  
<http://prion.umin.jp/index.html>

平成29年1月16日(月) 10:00~17:32

開始時間	演題番号	研究者名	演題	演者
10:00			研究代表者 挨拶 (プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班 山田正仁) (プリオン病及び遅発性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班 山田正仁)	
10:05			研究代表者 挨拶 (プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班 水澤英洋)	
10:10			厚生労働省健康局難病対策課/国立保健医療科学院(FA事務局)/日本医療研究開発機構(AMED) ご挨拶	
			I. プリオン病のサーベイランスと感染予防 Part 1 (10:25~10:55) 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】	座長: 水澤英洋
10:25	1-1	中村好一	プリオン病の疫学:わが国のサーベイランスと海外の動向	阿江竜介
10:35	1-2	金谷泰宏	プリオン病サーベイランスデータの管理・運用の研究	金谷泰宏
10:45	1-3	佐々木秀直	平成28年度北海道地区のサーベイランス状況について	佐々木秀直
			II. プリオン病のサーベイランスと感染予防 Part 2 (10:55~11:25) 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】	座長: 中村好一
10:55	1-4	青木正志	平成28年度 東北地方におけるプリオン病のサーベイランス状況	青木正志
11:05	1-5	阿部康二	中国四国地区におけるプリオン病サーベイランス	佐藤恒太
11:15	1-6	村井弘之	九州地方におけるP102L変異を有するGSSの臨床疫学的検討	村井弘之
			III. プリオン病のサーベイランスと感染予防 Part 3 (11:25~11:55) 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】	座長: 佐々木秀直
11:25	1-7	望月秀樹	プリオン病患者宅への同行訪問と今年度の近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況	隅 寿恵
11:35	1-8	塚本 忠	サーベイランスの諸課題(特に未回収問題と低剖検率の問題)について	塚本 忠
11:45	1-9	田村智英子	プリオン病の遺伝カウンセリングの現状と課題	田村智英子
11:55~12:55			昼 食 * プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班 研究者会議(プリオン分科会) * プリオン病及び遅発性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班 研究者会議(プリオン分科会) * プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班 研究者会議	
			IV. プリオン病のサーベイランスと感染予防 Part 4 (12:55~13:35) 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】	座長: 原田雅史
12:55	1-10	黒岩義之	本邦のCJDサーベイランスにおけるプリオン病の脳波診断	黒岩義之
13:05	1-11	原田雅史	CJDサーベイランスにおける画像コンサルテーション症例の検討と課題について	原田雅史
13:15	1-12	山田正仁	硬膜移植後Creutzfeldt-Jakob病の頭部MRI拡散強調画像の検討	坂井健二
13:25	1-13	佐藤克也	プリオン病サーベイランスにおける、ヒトプリオン病の患者の髄液中のバイオマーカーと異常プリオン蛋白試験管内増幅法(RT-QuIC法)の解析	佐藤克也
			V. プリオン病のサーベイランスと感染予防 Part 5 (13:35~14:15) 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】	座長: 村山繁雄
13:35	1-14	三條伸夫	遺伝性プリオン病のアミロイド病変とタウ病変	古川迪子
13:45	1-15	村山繁雄	RT-QuIC法偽陽性2症例の臨床病理学的研究	本山りえ
13:55	1-16	田中章景	臨床経過の異なるコドン102変異を伴うGerstmann-Sträussler-Scheinker病の2症例の臨床病理学的検討	橋口俊太
14:05	1-17	犬塚 貴	MM2視床型sCJDに類似した臨床症状、画像所見を呈した前頭側頭型認知症の1剖検例	林 祐一
			VI. プリオン病のサーベイランスと感染予防 Part 6 (14:15~14:50) 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】	座長: 青木正志
14:15	1-18	古賀雄一	PrP <sup>Sc</sup> の不活化が可能な酵素洗浄剤開発	古賀雄一
14:25	1-19	桑田一夫	安定化シャペロンと不安定化シャペロン	桑田一夫
14:35	1-20	北本哲之	サーベイランス遺伝子解析と滅菌法開発	北本哲之
14:50~15:05			休 憩	
			VII. プリオン病のサーベイランスと感染予防 Part 7 (15:05~15:35) 【プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班】	座長: 犬塚 貴
15:05	1-21	小野寺 理	頭蓋咽頭腫摘出術の30年後に小脳性運動失調をきたした37歳女性例	春日健作
15:15	1-22	太組 一朗	DBS (deep brain stimulation; 脳深部刺激) 療法手術器械の滅菌状況	太組 一朗
15:25	1-23	齊藤延人	プリオン病の二次感染リスク者のフォローアップに関する研究	齊藤延人
			VIII. プリオン病診療ガイドラインの改訂 Part 1 (15:35~16:40) 【プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班】	座長: 山田正仁
15:35	1-24	水澤英洋	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究: JACOP 自然歴調査との統合によるサーベイランスの発展	塚本 忠
15:48	1-25	坪井義夫	非痙攣性てんかん重複発作と孤発性Creutzfeldt-Jakob病の鑑別について: 症例報告と文献考察	藤岡伸助
16:01	1-26	浜口 毅	脳外科手術歴を有するCreutzfeldt-Jakob病の特徴	浜口 毅
16:14	1-27	佐々木真理	早期プリオン病のMRI拡散異常域定量化におけるスライス厚の検討【診断基準の策定・改訂】	山下典生
16:27	1-28	堀内浩幸	ヒトプリオン病における H-FABP 髄液検査の標準化と B-FABP の動態	堀内浩幸
			IX. プリオン病診療ガイドラインの改訂 Part 2 (16:40~17:32) 【プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班】	座長: 西田教行
16:40	1-29	西田教行	ヒトプリオン病剖検時の各臓器における prion seeding activity	佐藤克也
16:53	1-30	岩崎 靖	全経過1ヶ月のMM1型孤発性クロイツフェルト・ヤコブ病の1剖検例における臨床所見と病理所見の検討	岩崎 靖
17:06	1-31	高尾昌樹	プリオン病の剖検率を向上するためのシステム構築とプリオン病リソースの確立(第3報)	高尾昌樹
17:19	1-32	堂浦克美	診療ガイドライン「プリオン病の治療」に関する情報収集	堂浦克美
17:32 終了				

\* プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班: 発表時間 13分(発表9分、質疑応答4分) (敬称略)  
 プリオン病及び遅発性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班: 発表時間 13分(発表9分、質疑応答4分)  
 プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班: 発表時間 10分(発表7分、質疑応答3分)

平成29年1月17日(火) 9:00~18:05

開始時間	演題番号	研究者名	演題	演者
	X. プリオン病の分子病態解明と治療法開発 Part 1 (9:00~10:05) 【プリオン病及び変異性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班】			座長：坂口末廣
9:00	2-1	八谷如美	プリオン病における神経変性阻害効果をもつ医薬品の探索	八谷如美
9:13	2-2	作道章一	プリオン病治療戦略構築に向けてのプリオン蛋白質の性状解析	作道章一
9:26	2-3	石橋大輔	病原体プリオンの宿主の自然免疫応答および病因機序についての研究	石橋大輔
9:39	2-4	堀内基広	プリオン病の病態機序におけるグリア細胞の役割の解明	堀内基広
9:52	2-5	桶本(中村)優子	培養細胞を用いた新規のプリオン解析系および抗プリオン薬評価系確立の試み	桶本(中村)優子
	XI. プリオン病の分子病態解明と治療法開発 Part 2 (10:05~11:10) 【プリオン病及び変異性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班】			座長：堀内基広
10:05	2-6	堂浦克美	治療薬探索に最適なプリオン感染細胞モデルを用いた治療薬探索	堂浦克美
10:18	2-7	桑田一夫	多能性幹細胞の誘導及び神経細胞への分化を促す一連の化合物の探索とそれらのプリオン病への応用	桑田一夫
10:31	2-8	田中元雅	酵母を用いたプリオン病異種間感染機構の解明	田中元雅
10:44	2-9	宮澤光太郎	プリオン感染動物の体内におけるプリオン多様性とそれらの相互作用が病態に及ぼす影響の解析	宮澤光太郎
10:57	2-10	坂口末廣	新規のプリオン病の治療法開発を目指したプリオン分解のメカニズムの解明	坂口末廣
11:10-11:25	休憩			
	XII. プリオン病の分子病態解明と治療法開発 Part 3 (11:25~12:17) 【プリオン病及び変異性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班】			座長：小林篤史
11:25	2-11	北本哲之	プリオン病の治療薬開発に向けた新しい感染モデル動物の開発	毛利資郎
11:38	2-12	小林篤史	感染性に基づくクワイツフェルト・ヤコブ病の分類	小林篤史
11:51	2-13	浜口 毅	医療行為でプリオン病と同時にアルツハイマー型病理変化が伝播する可能性についての検討	浜口 毅
12:04	2-14	水澤英洋	遺伝性プリオン病患者登録・評価・介入ユニット(trial unit)の構築	塚本 忠
12:17-13:17	<p style="text-align: center;">昼 食</p> <p style="text-align: center;">* プリオン病及び変異性ウイルス感染症に関する調査研究班 研究者会議(SSPE分科会・PML分科会) * プリオン病及び変異性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班 研究者会議(SSPE分科会・PML分科会)</p>			
	XIII. 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)のサーベイランスと診療ガイドラインの改訂 Part 1 (13:17~13:56) 【プリオン病及び変異性ウイルス感染症に関する調査研究班】			座長：砂川富正
13:17	2-15	岡 明	亜急性硬化性全脳炎患者に関する疫学調査	岡 明
13:30	2-16	野村恵子	亜急性硬化性全脳炎に対するリハビリ治療に関する全国調査	野村恵子
13:43	2-17	砂川富正	亜急性硬化性全脳炎(SSPE)の発生状況(続報)ー特定疾患治療研究事業データの解析及びSSPE発生率の推定ー	砂川富正
	XIV. 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)のサーベイランスと診療ガイドラインの改訂 Part 2 (13:56~14:35) 【プリオン病及び変異性ウイルス感染症に関する調査研究班】			座長：楠原浩一
13:56	2-18	細矢光亮	亜急性硬化性全脳炎3例における髄液/血清 麻疹抗体比と臨床症状スコアの相関について(診療ガイドラインの策定・改訂のための検討)	菅野修人
14:09	2-19	長谷川俊史	亜急性硬化性全脳炎における髄液プロテオーム解析の試み	松重武志
14:22	2-20	楠原浩一	SSPE患者由来人工多能性幹細胞(iPSC)からの神経細胞の作製	楠原浩一
	XV. 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)の病態解明と治療法開発 (14:35~15:14) 【プリオン病及び変異性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班】			座長：堀田 博
14:35	2-21	堀田 博	亜急性硬化性全脳炎(SSPE)ウイルスの神経病原性規定因子の解明とSSPEウイルス阻害法の開発	堀田 博
14:48	2-22	柳 雄介	麻疹ウイルスの神経細胞感染機構の解明とそれに基づく治療法開発	柳 雄介
15:01	2-23	細矢光亮	亜急性硬化性全脳炎に対する治療法開発の基礎研究および臨床応用	前田 創
15:14-15:29	休憩			
	XVI. 進行性多巣性白質脳症(PML)のサーベイランスと診療ガイドラインの改訂 Part 1 (15:29~16:08) 【プリオン病及び変異性ウイルス感染症に関する調査研究班】			座長：三浦義治
15:29	2-24	三浦義治	本邦発症PML患者に対する新規サーベイランスシステムの確立	三浦義治
15:42	2-25	西條政幸	日本における進行性多巣性白質脳症の実験室サーベイランスおよびその臨床的・疫学的特徴	中道一生
15:55	2-26	阿江竜介	本邦で発症したフィンゴリモード治療に起因するPML患者の発症頻度ー統計学的手法を用いた諸外国との比較ー	阿江竜介
	XVII. 進行性多巣性白質脳症(PML)のサーベイランスと診療ガイドラインの改訂 Part 2 (16:08~16:47) 【プリオン病及び変異性ウイルス感染症に関する調査研究班】			座長：穴戸-原 由紀子
16:08	2-27	鈴木忠樹	国立感染症研究所感染病理部におけるPMLの病理組織検体の解析	高橋健太
16:21	2-28	穴戸-原 由紀子	進行性多巣性白質脳症の病理診断と、鑑別疾患： ～初期病変の病理像、コンサルテーション4症例の比較から～	穴戸-原 由紀子
16:34	2-29	雪竹基弘	進行性多巣性白質脳症(PML)診療、1年間の進歩ー薬剤関連PMLを中心にー	雪竹基弘
	XVIII. 進行性多巣性白質脳症(PML)の病態解明と治療法開発 Part 1 (16:47~17:26) 【プリオン病及び変異性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班】			座長：澤 洋文
16:47	2-30	澤 洋文	進行性多巣性白質脳症(PML)の病態解明と治療法の開発	大場靖子
17:00	2-31	長嶋和郎	乏突起膠腫細胞株におけるJCウイルス感染許容細胞の検索および特異的増殖因子の特定	谷川 聖
17:13	2-32	奴久妻聡一	進行性多巣性白質脳症の治療薬の探索	奴久妻聡一
	XIX. 進行性多巣性白質脳症(PML)の病態解明と治療法開発 Part 2 (17:26~18:05) 【プリオン病及び変異性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班】			座長：西條政幸
17:26	2-33	穴戸-原 由紀子	進行性多巣性白質脳症:JCウイルスが誘導する細胞死のメカニズム:In situ hybridization法によるJCウイルス感染細胞の検出	穴戸-原 由紀子
17:39	2-34	西條政幸	日本における進行性多巣性白質脳症(PML)のサーベイランスとその特徴の解析を通じたPML発症因子の解明および診断法の開発	中道一生
17:52	2-35	三浦義治	本邦発症進行性多巣性白質脳症(PML)に対する塩酸メフロキン治療の多数例での検討	三浦義治
18:05 終了				

\* プリオン病及び変異性ウイルス感染症に関する調査研究班:発表時間 13分(発表9分、質疑応答4分)

(敬称略)

プリオン病及び変異性ウイルス感染症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班:発表時間 13分(発表9分、質疑応答4分)

